

## 資料 4. 聖隷浜松病院産婦人科専門研修施設群

### 各研修病院における症例数および分娩数など(平成 29 年 1 月～12 月)

		病院	体外 受精	婦人科良性 手術	浸潤癌 診療実績	分娩数
基幹施設	【	聖隷浜松病院	100	590	150	1585
		浜松医科大学付属病院	77	241	100	788
連携施設	【	磐田市立総合病院	0	112	16	788
		中東遠総合医療センター	0	70	40	546
		東京北医療センター	6	302	31	1178

### 各教育研修病院における研修体制

病院	生殖内分泌	婦人科腫瘍	周産期	女性のヘルスケア
聖隷浜松病院	◎	◎	◎	◎
浜松医科大学付属病院	◎	◎	◎	◎
磐田市立総合病院	○	◎	◎	◎
中東遠総合医療センター	○	◎	◎	◎
東京北医療センター	○	◎	◎	◎

各研修病院での専攻医指導に関する研修可能性を4段階(◎、○、△、×)に評価した。

## 3年間で経験できる症例数(必要終了要項)

研修了要件	聖隷浜松病院 (/年)	専門研修群 (/年)	専門研修群 (3年合計)	3年合計 (1人当たり) (必要終了要項)
経膈分娩	1,500	1,900	8,700	<b>725 (100)</b>
帝王切開執刀	500	600	1,800	<b>150 (30)</b>
帝王切開助手	500	600	1,800	<b>150 (20)</b>
前置胎盤・常位胎盤早期剥離の 帝王切開執刀・助手	25	28	84	<b>7 (5)</b>
子宮内容除去術・子宮内膜全面 搔爬執刀	200	215	645	<b>53 (10)</b>
腔式手術(子宮頸部円錐切除、 子宮頸管縫縮術を含む)執刀	200	215	645	<b>53 (10)</b>
子宮付属器摘出術・卵巣嚢腫摘 出術執刀(開腹・腹腔鏡)	220	225	675	<b>56 (10)</b>
単純子宮全摘術執刀	200	200	600	<b>50 (10)</b>
浸潤癌(子宮頸癌、体癌、卵巣 癌、外陰癌)手術助手	90	100	300	<b>25 (5)</b>
腹腔鏡下手術執刀・助手	360	330	990	<b>82 (15)</b>
不妊症の原因・治療に携わった 経験	300	300	900	<b>75 (5)</b>
採卵・胚移植の術者・助手あるい は見学者として参加	100	100	300	<b>25 (5)</b>
思春期や更年期以降の女性の愁 訴に対する診断治療経験	600	800	2,400	<b>200 (5)</b>
OC/LEP 初回処方児の有害事象 説明ないし説明助手経験	200	400	1,200	<b>100 (5)</b>

## 1) 基幹施設

## 聖隷浜松病院

指導責任者	<p>村越 毅</p> <p>【メッセージ】</p> <p>総合周産期母子医療センターとして、年間約 1,500 件の分娩と約 500 例の帝王切開を行っています。また、総合病院に併設された総合周産期母子医療センターとして、母体救急や各科合併症に対応可能であるのみならず、小児外科、小児心臓外科、小児循環器科など小児病院的な役割も担っています。また、胎児治療も行っています。</p> <p>婦人科では、地域がん診療拠点病院として、全ての婦人科癌の治療を行っています。婦人科の手術は浸潤癌が年間 90 件、腹腔鏡下手術が 360 件、骨盤臓器脱の手術が 100 件を含めて年間約 950 件です。</p> <p>生殖不妊領域では、一般不妊治療から年間約 100 周期の ART に至る高度生殖医療を行っています。</p> <p>希望により NICU や産科麻酔(無痛分娩を含む)のトレーニングも可能です。</p> <p>産婦人科専門研修医にとっては産婦人科のすべてを学べる非常にバランスのとれた診療内容になっています。</p>
指導医数	12 名(日本産科婦人科学会指導医 7 名、日本産科婦人科学会専門医 12 名、周産期(母体胎児)指導医 2 名、専門医 2 名、婦人科腫瘍専門医 3 名、内視鏡技術認定医 1 名、超音波指導医 2 名、超音波専門医 2 名、臨床遺伝専門医 3 名)
外来・入院患者数	<p>外来患者 180 名(1 日平均: 産科 73 名、婦人科 73 名、不妊内内分泌科 23 名)</p> <p>入院患者 90 名(1 日平均: 産科 51 名、婦人科 39 名)</p>
手術件数	約 1200 件/年 (この内、帝王切開 500 件、浸潤癌 90 件、腹腔鏡 360 件、胎児治療 20 件)
分娩件数	約 1500 件/年
経験できる疾患	<p>産科:ほぼ全ての疾患(胎児診断、胎児治療、正常分娩、異常分娩、合併症妊娠、産科救急疾患など)</p> <p>婦人科:極めて特殊な症例を除きほぼ全ての疾患</p> <p>不妊生殖医療:一般不妊および高度不妊治療(体外受精、顕微授精、凍結胚移植など)</p> <p>女性医学:思春期、更年期、骨盤臓器脱など</p>
経験できる手技	<p>1) 婦人科内分泌検査・・・基礎体温測定、腔細胞診、頸管粘液検査、ホルモン負荷テスト、各種ホルモン測定、子宮内膜検査</p> <p>2) 不妊(症)検査・・・基礎体温測定、卵管疎通性検査(通水、通色素、子宮卵管造影)、精子頸管粘液適合試験(Huhner テスト)、精液検査、腹腔鏡、子宮内膜検査</p> <p>3) 癌の検査・・・子宮腔部・頸部・内膜をはじめとする細胞診、コルポスコピー、組織診、RI 検査、CT、MRI、PET、腫瘍マーカー測定</p> <p>4) 絨毛性疾患検査・・・基礎体温測定、ホルモン測定(絨毛性ゴナドトロピンその他)、胸部 X 線検査、超音波診断、骨盤動脈造影</p> <p>5) 感染症の検査・・・一般細菌、原虫、真菌検査、免疫学的検査(梅毒血清学的検査、HBs 抗原検査、HCV 抗体検査、HTLV-I 検査、HIV 検査、風疹抗体、トキソプラズマ抗体、淋菌 DNA、クラミジア DNA・抗体検査など)、血液像、生化学的検査</p> <p>6) 放射線学的検査・・・骨盤計測(入口面撮影、側面撮影)、子宮卵管造影、腎盂撮影、膀胱造影、骨盤血管造影、シンチグラフィ、骨・トルコ鞍・胸部・腹部単純撮影法、CT、MRI、PET、RI 検査</p> <p>7) 内視鏡検査・・・コルポスコピー、子宮鏡、腹腔鏡</p> <p>8) 妊娠の診断・・・免疫学的妊娠反応、超音波検査(ドップラー法、断層法)</p> <p>9) 生化学的・免疫学的検査</p> <p>10) 超音波検査・・・ドップラー法:胎児心拍聴取、断層法:骨盤腔内腫瘍(子宮筋腫、子</p>

	<p>宮内膜症、卵巣腫瘍その他)、胎嚢、胎児頭殿長、児頭大横径、胞状奇胎、胎盤付着部位、多胎妊娠、胎児発育、胎児形態異常の診断、子宮頸管長、Biophysical Profile Score (BPS)、Amniotic Fluid Index (AFI)、血流ドプラー法</p> <p>11) 出生前診断・・・羊水診断、胎児血検査、胎児 well-being 診断、胎児形態異常診断</p> <p>12) 分娩監視法・・・陣痛計測、胎児心拍数計測、血液ガス分析</p> <p>13) 胎児治療・・・胎児輸血、双胎間輸血症候群に対するレーザー治療、無心体双胎に対する血流遮断、胎児胸水に対する胸腔羊水腔シャント術など</p>
経験できる手術	<p>【術者として】</p> <p>婦人科：腹式単純子宮全摘出術、腔式単純子宮全摘出術、子宮筋腫核出術、子宮腔部円錐切除術、頸管ポリープ切除術、子宮脱手術、付属器摘出術、卵巣腫瘍核出術(切除術)、外陰切除術、子宮鏡下手術、異所性妊娠手術、卵管避妊手術、Bartholin 腺手術(造袋術、摘出術)、陈旧性会陰裂傷形成術、腹腔鏡下腹腔内観察、胸水穿刺術、腹水穿刺術、皮膚腫瘍生検術、腹腔鏡下手術</p> <p>産科：流産手術、吸引分娩術、鉗子分娩術、帝王切開術、外陰・腔血腫除去術、腔会陰裂傷縫合術</p> <p>生殖医療：人工授精</p> <p>【助手として】</p> <p>婦人科：高度な腹腔鏡下手術、膀胱・尿管に関する手術、消化管・肛門に関する手術</p> <p>産科：前置胎盤手術、癒着胎盤手術(子宮摘出含む)、胎盤早期剥離の帝王切開、早産児の帝王切開、胎児治療</p> <p>生殖医療：体外受精・胚移植</p>
学会認定施設	<p>日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設</p> <p>日本周産期新生児医学会研修施設</p> <p>日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設</p> <p>日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設</p> <p>など</p>

## 2) 連携施設

### 1. 浜松医科大学医学部付属病院

指導責任者	<p>金山尚裕</p> <p>【初期研修医へのメッセージ】</p> <p>産科婦人科学会の専攻医指導施設認定のもと、産科、婦人科、不妊内分泌、女性医学のどの分野に関して、ほぼすべての症例を経験することができます。</p> <p>産科領域では、正常妊婦からハイリスク妊婦まで幅広い妊産婦症例を取り扱っています。麻酔科と連携して無痛分娩も行っています。また、NICU も充実しており、希望により新生児科で研修を行える用意もしています。</p> <p>婦人科領域では、主に県内の産婦人科施設より紹介いただいた患者を対象として、手術、化学療法、放射線治療、緩和医療を含めた集学的がん治療を行っています。手術では、腹腔鏡手術も多く行われており、子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮内膜症、子宮体癌などの幅広い症例を対象とした腹腔鏡手術も十分経験できる内容となっています。</p> <p>不妊・内分泌領域に関しては、不妊症・不育症の検査、人工授精、採卵・体外受精/顕微授精・胚移植と、一般不妊治療から高度生殖補助医療まで行っています。</p> <p>上述に加えて、産科 DIC・羊水塞栓症の診断、近赤外線を用いた胎児モニタリング、子宮頸部異形成に対する光線力学療法などにも力を注いでいます。</p> <p>尚、周産期・新生児、婦人科腫瘍、内視鏡、生殖内分泌の各専門分野においては、それぞれ研修施設の認定を頂いており、産婦人科専門医取得後に各スペシャリティを目指して研修も行うことができますのでご考慮頂きたいと思います。</p>
-------	---

	また、院内には女性医師支援センターが設置されており、主に出産後の女性医師の就労支援について、随時、相談を受け付けています。
指導医数	日本産科婦人科学会指導医 6 名(日本産科婦人科学会専門医 20 名)、周産期(母体胎児)指導医 2 名(周産期(母体胎児)専門医 4 名)、婦人科腫瘍指導医 1 名(婦人科腫瘍専門医 2 名)、がん治療認定教育医 1 名(がん治療認定医 3 名)、生殖医療専門医 1 名、内視鏡指導医 1 名(内視鏡技術認定医 1 名)
外来・入院患者数	外来患者数:約 1500/月 入院患者数:約 120/月
手術件数	年間約 650 件(約 50 件/月) 婦人科悪性腫瘍手術:年間約 50 件 婦人科良性開腹手術:年間約 50 件 婦人科腹腔鏡下手術:年間約 200 件(約 15 件/月) 帝王切開術:年間約 250 件(約 20 件/月)
分娩件数	年間 860 件(約 70 件/月)
経験できる疾患	産科、婦人科、不妊内分泌、女性医学のどの分野に関してもほぼすべての症例を経験することができます。
経験できる手技	1)内分泌・不妊/不育症検査: 基礎体温測定、腔細胞診、頸管粘液検査、精液検査、精子-頸管粘液適合検査、血中ホルモン測定各種、ホルモン負荷試験各種、子宮内膜日付診、感染症免疫学的検査、子宮卵管造影検査、自己抗体検査など 2)生殖補助医療: 人工授精、採卵、体外受精/胚移植、顕微授精、胚/精子凍結保存、精子採取法(他科と連携)など 3)妊娠もしくは妊娠期の検査: 免疫学的妊娠反応、超音波検査(妊娠/その他の鑑別診断、発育診断、形態異常診断、Biophysical Profile Score (BPS)、胎児・臍帯血流計測など)、胎児心拍数モニタリング、血液免疫学的検査、羊水検査など 4)分娩時の検査: 内診などによる頸管・産道の評価、胎児 well-being 診断、分娩介助、胎盤娩出法、クリステレル娩出法、無痛分娩(他科と連携)、その他分娩時の管理。 5)新生児の検査: NICU スタッフと連携。 5)がんの検査: 子宮腔部・頸部・内膜をはじめとする細胞診および組織診、コルポスコピー、超音波/CT/MRI/PET など画像検査各種、腫瘍マーカー測定など 6)絨毛性疾患検査: 基礎体温測定、ホルモン測定、超音波/胸部 X 線/CT/MRI/PET など画像検査各種検査など 7)緩和医療: IVH挿入、ポート挿入など(他科と連携あり) 8)感染症の検査: 一般細菌、原虫、真菌検査、免疫学的検査(梅毒血清学的検査、HBs 抗原検査、HCV 抗体検査、HTLV-I 検査、HIV 検査、風疹抗体、トキソプラズマ抗体、淋菌 DNA、クラミジア DNA・抗体検査など)、血液像、生化学的検査 9)放射線学的検査: 骨盤計測(入口面撮影、側面撮影)、子宮卵管造影、腎盂・膀胱造影、単純 X 線/CT/MRI/PET など画像検査各種 10)内視鏡検査: コルポスコピー、子宮鏡、腹腔鏡 11)基礎実験: 実験動物管理、DNA/RNA・タンパク質・糖鎖・脂質各種実験
経験できる手術	産科: 会陰切開・縫合術、吸引遂娩術、鉗子遂娩術、骨盤位牽出術、腹式帝王切開術、子宮内容除去術、子宮頸管縫縮術・抜環術、妊娠合併卵巣腫瘍摘出術、産褥会陰血腫除去術、羊水穿刺術、卵管結紮術、子宮形成術、陈旧性会陰裂傷形成術 婦人科: 腹式単純子宮全摘術、腔式単純子宮全摘術、準広汎子宮全摘術、広汎子宮全摘術、子宮体癌根治術、卵巣癌根治術、外陰癌手術(他科と連携)子宮腔部円錐切除術、頸管ポリープ切除術、子宮脱手術、子宮筋腫核出術、付属器摘出術、卵巣腫瘍摘出術、Bartholin 腺手術(造袋術、摘出術)、異所性妊娠手術、腹腔鏡下腹腔内観察、腹腔鏡下手術各種(子宮体癌手術含む)、腹水穿刺術、胸水穿刺術、皮膚腫瘍生検術
学会認定施	日本産科婦人科学会: 専門医制度専攻医指導施設指定

設	日本周産期・新生児医学会:母体・胎児専門医基幹研修施設 日本周産期・新生児医学会:新生児専門医基幹研修施設 日本婦人科腫瘍学会:専門医制度指定修練施設 婦人科悪性腫瘍研究機構:JGOG登録参加施設 日本生殖医学会:生殖医療専門医制度認定研修施設 日本産科婦人科内視鏡学会:認定研修施設
---	---

## 2. 磐田市立総合病院

指導責任者	徳永直樹 【初期研修医へのメッセージ】 当院は静岡県中東遠地域の中核病院として、全科活力がああり、初期研修病院としても大変人気の高い病院のひとつです。産科は地域周産期母子医療センターを有し、周産期の豊富な症例を経験できます。婦人科は一般的な婦人科疾患から悪性腫瘍まで、手術療法から集学的治療まで、経験可能です。また、他科との連携も容易で、日常一般外来やプライマリ・ケアも研修可能です。
指導医数	7名(日本産科婦人科学会専門医5名) 日本周産期・新生児学会 母体胎児指導医1名(母体・胎児専門医2名)
外来・入院患者数	外来患者 2300名(1ヶ月平均) 入院患者 1100名(1ヶ月平均)
手術件数	約 35件/月
分娩件数	約 70件/月
経験できる疾患	産科、婦人科、生殖医療(ARTを除く)の各部門におけるほとんどの疾患
経験できる手技	<b>産科:</b> 妊娠診断、妊婦健診、切迫早産等妊娠経過異常に対する管理、分娩管理、分娩処置(正常・吸引・鉗子・帝王切開分娩、会陰切開縫合等)、新生児の診察、産褥管理 <b>婦人科:</b> 一般外来診療・・・内診・直腸診・穿刺診・検体検査・画像診断等による各種疾患の診断、投薬・小手術等による治療／入院治療・・・手術患者の手術及び周術期管理、感染性疾患や悪性腫瘍患者の治療及び全身管理 <b>生殖医療:</b> 基礎体温表の診断・各種ホルモン検査・精液検査・卵管検査等による診断等
経験できる手術	<b>産科:</b> 帝王切開術、吸引分娩術、鉗子分娩術、会陰裂傷縫合術、膣外陰血腫除去術、子宮頸管縫縮術、流産手術、卵管結紮術 等 <b>婦人科:</b> 腹式単純子宮全摘出術、腔式単純子宮全摘出術、子宮悪性腫瘍手術、子宮筋腫核出術、子宮頸部円錐切除術、子宮脱手術、付属器摘出術、卵巣腫瘍核出術、卵巣癌根治手術、バルトリン腺手術(造袋術、摘出術)、腹水穿刺術、皮膚腫瘍生検術 等
学会認定施設	日本産科婦人科学会専門医制度卒業研修指導施設 日本周産期・新生児学会母体胎児専門医研修施設

## 3. 中東遠総合医療センター

指導責任者	村上 裕介 【初期研修医へのメッセージ】 当院は静岡県中東遠地域に位置し、同地域の母体搬送、産科救急における中心的役割を担っています。婦人科領域では特に悪性腫瘍においては専門的な高度な治療を行っております。平成29年より腹腔鏡手術を導入し今後、技術を磨いて適応疾患を
-------	---

	拡げていく予定です。
指導医数	2名(日本産科婦人科学会専門医3名)
外来・入院患者数	外来患者 83人 入院患者 24人
手術件数	約 33件/月
分娩件数	約 45件/月
経験できる疾患	高度不妊治療を除く、産婦人科疾患全般
経験できる手技	<b>産科:</b> 当院での新生児管理は 34 週以降に限られていますが、原則どんな患者も受け入れております。正常分娩、吸引分娩、鉗子分娩、帝王切開などの手技を基本から丁寧に指導します。 <b>婦人科:</b> 良性疾患はもちろん、悪性疾患は婦人科腫瘍専門医が手術においては広汎子宮全摘術から傍大動脈リンパ節郭清に至るまでと抗がん剤治療における最新の知見についても指導いたします。 <b>生殖医療:</b> 高度不妊治療を除く一般不妊治療まで行っております。 当科では毎日症例検討会を行い、治療方針に困った症例などは全員で方針を決定しています。
経験できる手術	<b>産科:</b> 流産手術、頸管縫縮術、吸引分娩、鉗子分娩、帝王切開術 <b>婦人科:</b> 腹式単純子宮全摘術、腔式単純子宮全摘術、広汎子宮全摘術、大網全摘術、傍大動脈リンパ節郭清術、骨盤内リンパ節郭清術、子宮筋腫核出術、円錐切除術、子宮付属器切除術、卵巣腫瘍核出術、子宮外妊娠手術、腹腔鏡下子宮付属器切除術、腹腔鏡下卵巣腫瘍核出術、腹腔鏡下子宮外妊娠手術
学会認定施設	日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)指定施設

## 4. 東京北医療センター

指導責任者	塩津 英美 【メッセージ】 年間約 1,100 件の分娩と約 200 例の帝王切開を含め 600 例の手術を行っています。このうち 200 件は腹腔鏡・子宮鏡などの内視鏡手術です。 その他開腹手術、経膈手術、悪性腫瘍手術など不妊治療に関しては conventional な IVF まで行っております。 後期研修にとってはすべてを学べる非常にバランスのとれた診療内容になっています。
指導医数	3名(日本産科婦人科学会専門医5名)
外来・入院患者数	外来患者 157名(1日平均) 入院患者 36名(1日平均)
手術件数	約 746件/年(この内、D&C:約119件 C/S:約264件)
分娩件数	約 1178件/年
経験できる疾患	非常に進行した癌腫を除いて、ほとんどすべての婦人科疾患を経験できる。 不妊症診療を経験できる。
経験できる手技	1) 婦人科内分泌検査・・・基礎体温測定、腔細胞診、頸管粘液検査、ホルモン負荷テスト、各種ホルモン測定、子宮内膜検査 2) 不妊(症)検査・・・基礎体温測定、卵管疎通性検査(通水、通色素、子宮卵管造影)、精子頸管粘液適合試験(Huhner テスト)、精液検査、腹腔鏡、子宮内膜検査 3) 癌の検査・・・子宮腔部・頸部・内膜をはじめとする細胞診、コルポスコピー、Schiller テスト、組織診、RI 検査、CT、MRI、腫瘍マーカー測定 4) 絨毛性疾患検査・・・基礎体温測定、ホルモン測定(絨毛性ゴナドトロピンその他)、胸部 X 線検査、超音波診断、骨盤動脈造影

	<p>5) 感染症の検査・・・一般細菌、原虫、真菌検査、免疫学的検査(梅毒血清学的検査、HBs抗原検査、HCV抗体検査、HTLV-I検査、HIV検査、風疹抗体、トキソプラズマ抗体、淋菌DNA、クラミジアDNA・抗体検査など)、血液像、生化学的検査</p> <p>6) 放射線学的検査・・・骨盤計測(入口面撮影、側面撮影)、子宮卵管造影、腎盂撮影、膀胱造影、骨盤血管造影、シンチグラフィ、骨・トルコ鞍・胸部・腹部単純撮影法、CT、MRI、RI検査</p> <p>7) 内視鏡検査・・・コルポスコピー、腹腔鏡</p> <p>8) 妊娠の診断・・・免疫学的妊娠反応、超音波検査(ドップラー法、断層法)</p> <p>9) 生化学的・免疫学的検査</p> <p>10) 超音波検査・・・ドップラー法:胎児心拍聴取、断層法:骨盤腔内腫瘍(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍その他)、胎嚢、胎児頭殿長、児頭大横径、胞状奇胎、胎盤附着部位、多胎妊娠、胎児発育、胎児形態異常の診断、子宮頸管長、Biophysical Profile Score (BPS)、Amniotic Fluid Index (AFI)、血流ドップラー法</p> <p>11) 出生前診断・・・羊水診断、胎児血検査、胎児 well-being 診断、胎児形態異常診断</p> <p>12) 分娩監視法・・・陣痛計測、胎児心拍数計測、血液ガス分析</p>
<p>経験できる手術</p>	<p><b>【術者として】</b>                  婦人科:腹式単純子宮全摘出術、腔式単純子宮全摘出術、子宮筋腫核出術、子宮腔部円錐切除術、頸管ポリープ切除術、子宮脱手術、付属器摘出術、卵巣腫瘍核出術(切除術)、外陰切除術、子宮鏡下手術、子宮外妊娠手術、卵管避妊手術、Bartholin 腺手術(造袋術、摘出術)、陈旧性会陰裂傷形成術、腹腔鏡下腹腔内観察、胸水穿刺術、腹水穿刺術、皮膚腫瘤生検術                  産科:流産手術、吸引分娩術、鉗子分娩術、帝王切開術、外陰・腔血腫除去術、腔会陰裂傷縫合術、</p> <p><b>【助手として】</b>                  婦人科:腹腔鏡下手術、膀胱・尿管に関する手術、消化管・肛門に関する手術</p>
<p>学会認定施設</p>	<p>日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設</p>